



#日本遺産の活用・発信

#山車の保存修繕

#八王子城跡ガイダンス施設

#八王子車人形などの
伝統芸能

#日本遺産を活かした
観光推進

#日本遺産センター
八王子博物館(はちはく)

国の「重要無形民俗文化財」

日本遺産プロジェクト

■ 過去から未来への想いを紡ぐ みんなの桑都物語

絹産業を基盤として発展し、“桑都(そうと)”と称された八王子。戦国時代に関東を治めた北条氏の名将・北条氏照(ほうじょううじてる)が八王子に居城を築いたことから始まる桑都の物語は、霊山・高尾山への人々の祈りを通じてこの地に育まれた豊かな文化を未来へと紡いでいく物語です。

■ プロジェクトの特徴

日本遺産の構成文化財であり、国の重要無形民俗文化財に指定されている「八王子車人形」をはじめとした本市の伝統芸能を継承していくため、後継者の育成や技艺練磨に対して支援を行います。

また、指定や未指定にかかわらず、地域に受け継がれてきた文化財と、その周辺環境も含めた歴史文化資源を永く後世に受け継いでいくとともに、本市が持つ歴史・文化の魅力を市内外に発信します。

さらに、令和8年10月にオープンする「八王子歴史・郷土ミュージアム」において、日本遺産と本市の歴史・文化に関する展示や体験プログラム等の充実に活用してまいります。

■ 担当者の声



日本遺産は、行政だけでなく企業の皆さまと一緒に取組んでいく制度です。市では、「日本遺産」認定以降、企業の皆さまや関連団体との連携を通じて、桑都・八王子の豊かな自然と伝統文化を発信する体制を整えてきました。

今後も日本遺産制度のもと、歴史的・文化的資源を活用した取組を進めてまいります。桑都の魅力を人々に伝えるために企業の皆さまのご協力をお願いします。